

累積報告数・累積定点当り報告数、疾病、都道府県別

2018年49週(12月03日～12月09日) 2018年12月13日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
全国総数	8438	1.70	1609	0.51	2085	0.66	9682	3.07	27974	8.86	1905	0.60
山梨県	21	0.51	1	0.04	1	0.04	39	1.63	127	5.29	13	0.54
中北	6	0.43	-	-	-	-	9	1.13	62	7.75	2	0.25
中北峡北	1	0.13	1	0.20	-	-	16	3.20	9	1.80	4	0.80
峡東	14	2.00	-	-	-	-	-	-	15	3.75	4	1.00
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.50	-	-
富士・東部	-	-	-	-	1	0.20	14	2.80	40	8.00	3	0.60
<b>【警報レベル(開始～終息)】</b>	<b>30～10</b>				<b>3～1</b>		<b>8～4</b>		<b>20～12</b>		<b>2～1</b>	
<b>【注意報レベル】</b>	<b>10</b>										<b>1</b>	

2018年49週(12月03日～12月09日)コメント

インフルエンザは37週から報告が継続していますが、峡東保健所管内では定点当たり報告数が2.0とやや増加しています。予防対策等について、当センターホームページのトップページ「インフルエンザ予防と対応」から確認できますので参考にして下さい。

伝染性紅斑は峡東保健所管内で警報レベルを下回りましたが、富士・東部保健所管内では警報レベルが継続しており、中北保健所管内でも報告数が多くなっています。

水痘は、峡東保健所管内で再び注意報レベルとなり、中北保健所峡北支所管内、富士・東部保健所管内でも報告数が多くなっています。

感染性胃腸炎は中北保健所管内、富士・東部保健所管内で報告数が増えています。

流行性角結膜炎は富士・東部保健所管内で報告数が増えています。

これらの感染症予防のため、手洗い、うがい、咳エチケットを励行しましょう。

【今週の警報】：伝染性紅斑(富士・東部保健所管内)

【今週の注意報】：水痘(峡東保健所管内)

山梨県集計(2018年49週(12月03日～12月09日))で報告が多い疾病順

感染性胃腸炎	5.29 / 定当
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.63 / 定当
伝染性紅斑	1.50 / 定当

全国集計(2018年49週(12月03日～12月09日))で報告が多い疾病順

感染性胃腸炎	8.86 / 定当
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.07 / 定当
インフルエンザ	1.70 / 定当

保健所別で報告が多い疾病順(2018年49週(12月03日～12月09日))

感染性胃腸炎	富士・東部	8.00 / 定当
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	中北峡北	3.20 / 定当
伝染性紅斑	富士・東部	3.80 / 定当

2018年49週(12月03日～12月09日)

	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
全国総数	1943	0.62	3026	0.96	1317	0.42	335	0.11
山梨県	4	0.17	36	1.50	4	0.17	1	0.04
中北	1	0.13	12	1.50	1	0.13	-	-
中北峡北	1	0.20	2	0.40	-	-	-	-
峡東	-	-	2	0.50	1	0.25	-	-
峡南	-	-	1	0.50	-	-	-	-
富士・東部	2	0.40	19	3.80	2	0.40	1	0.20

【警報レベル(開始～終息)】

5～2

2～1

6～2

【注意報レベル】



2018年49週(12月03日～12月09日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
全国総数	178	0.37	3	0.01	19	0.04
山梨県	3	0.30	-	-	1	0.10
中北	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	3	1.50	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	1	0.50

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】